

“非認知能力”を高める、造形とドラマを組み合わせた表現ワークショップ

ドラマートSM

Dramart = 表現活動 [Drama] + 造形・芸術 [Art]



アートを体現する、新しい形の表現活動

工作をする時のワクワクする世界感の広がり。工夫するときの想像力の深まり。

造形や絵と一体化して見えてくる自己表現力。

工作が苦手な子、芸術は難しくてわからないという人も巻き込むシンプルなアプローチ。

芸術を体で感じ表現する、画期的なワークショップです。

また、作品を紹介したり、グループで一緒に考えたり、共同で作りあげる活動を通して、
他者理解・協調性などのソーシャルスキルも磨かれます。

ART IN LIFE



ドラマートSMのご紹介

「ドラマートSM」は、造形を目的とした「工作教室」ではなく、想像力やコミュニケーション力を高める「表現教育活動」の1形態です。

造形から活動を広げていくことにより、想像がより広がり、イメージを形にしたいという意欲で表現力や工夫する力が高まります。また、他者と協調したり、違いを感じたりする関わりの中で、社会性が育まれます。それらを通して即興性（即応性）、達成感などを経験し、それが自己肯定感や自信につながります。こうした“非認知能力”を、芸術に触れる遊びの中で高めることができるのが特徴です。

また、従来の表現教育のアプローチでは取り組みが難しい方でも十分な参加ができます。“もの”（造形物や絵画）を介在することによって、気持ちが乗らず身体表現が難しかったり、発達の偏りにより視覚優位であったり、こだわりが強かったりする方でも自然にドラマや表現の中に入り込むことができます。

作ったものに自分を託して表現する「プロジェクテッドプレイ」により、より深い身体表現やコミュニケーションをとることができ、身体・感情・言語など多岐にわたる表現を深めることができます。様々な年齢やタイプの参加者に対して柔軟に対応できるアップトゥデートなプログラムです。



アートインライフの取り組み

NPO法人アートインライフ代表 太宰久夫（玉川大学芸術学部 教授／演出家・東京演劇大学連盟 代表理事・子ども文化地域コーディネーター協会 専務理事・多摩美術大学 非常勤講師 表現教育家・演劇教育・児童青少年演劇・演技・演出）

私どもが永年取り組んできました、“ドラマによる表現教育”も今では広く認知され、年々様々な場所で行われるようになってまいりました。私共はそれに留まる事無く、コミュニケーション・表現の分野で更に新たなワークショップの方法を研究しています。

昨今、様々な心の悩みをお持ちの方や、成長発達段階において支援を必要とされる方も含め、社会全体が表現の経験不足からコミュニケーション下手になっています。そういったすべての方々に向けて取り組みやすいプログラムの実施が現代的

ニーズとして高まっています。

私共はそれらのニーズをいち早く感知し、状況をリサーチした上で、まだ国内では何処も着手していない新しいタイプの活動プログラムを開発しました。それは従来のような演劇的手法や身体表現の方法のみに留まらない、人間の表現とコミュニケーションに関する総合的な観点からのアプローチです。

アートインライフではワークショップの実施のほか、研究会やテキストの作成を通して認知・普及を推進しております。

アートインライフでの展開

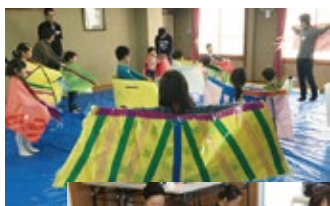


ペパピポ アートポート

◆ペパピポとはPaperPeopleのこと。
簡単に作れる紙人形は自由に遊べる自分の分身です。



『ペパピポアートポート』はアートインライフが行なうドラマートSMのプログラムです。
都内をはじめ、全国各地で実践・推進しています。開催ご希望の方はお問い合わせください。



○主な実施実績

- 2018年 宮城県・熊本県・新潟県・青森県 2019年 大阪府
・文化庁委託事業「戦略的芸術文化創造推進事業」
【体験ワンダーランド】
- 2018年 東京都港区
・【Learn for Life 2018(東京国際教育祭) ワークショップの森】
- 2015年～2018年 東京都渋谷区
・子どもと舞台芸術大博覧会実行委員会【アート体験見本市】
- 2015年～2017年 東京都板橋区
・こども劇場いたばし【ペパピポアートポートinいたばし】
- 2014年～2015年 東京都渋谷区
・NPO法人Canvas主催【ワークショップコレクション10/11】

NPO 法人アートインライフはドラマートのほか、多様な年齢の方々に向け、様々な表現ワークショップ・創作指導・芸術監修・教育監修などをサポートいたしております。ご依頼のニーズにあわせてプログラムを組み立てます。こちらも詳しくはお問い合わせください。

Q&A

◆クラフトのワークショップとは違うのですか？

クラフトのワークショップ(工作教室)の目的はおおむね「作る」ことです。作ることを楽しんだり、持ち帰って、遊んだり、飾ったりして楽しめます。しかし、ドラマートでは「**作って遊ぶ**」ことで深く表現活動を体験します。それを通して出てくる作品はより「**思い入れの深い**」ものになります。

◆従来の表現教育活動とは違うのですか？

基本はその延長線上にあります。ただ、工作したものを介しておこなうことにより、身体・感情・言語表現などが、誰でもすぐに深められます。このようなアプローチを**プロジェクトプレイ**といい、直接身体ではなく、物に投影することにより、さまざまな表現が表出しやすくなるのが特長です。

◆プログラムは決まっていますか？

年齢や場所によって対応できるプログラムは違いますので様々なタイプのものをご用意しています。また、地域や学校に根ざしたオリジナルな企画もご用意できます。ご相談ください。



◆工作が苦手な子も楽しめますか？

大丈夫です。「うまく作れない」とか「失敗したらどうしよう」などの“**苦手意識**”が出ないようなアプローチをしています。もちろん工作が得意な子も楽しめるプログラムです。



◆作ったものは持ち帰って良いですか？

共同で作成したもの以外は、持ち帰りOKです。
ワークショップの本質は作ったものではなく、共有した時間の中にあります。持ち帰ったものは飾っておくだけではなく、自宅でもそれを核に**新たな遊びが展開**できると良いですね。

■対象年齢は？

工作を中心にした活動では、幼児と保護者から小学生向けのものが多くなっています。中高生から大人向けのものでは、美術鑑賞や絵画制作、音楽と身体表現など、工作にどのような広義のアート+ドラマ活動を提供しています。すべての年齢に適したプログラムをご用意しています。

プログラムメニュー

他にも様々なプログラムがあります。オーダーメイドにも対応します。

主な対象年齢：♥幼児・保護者 ♥小学生(低) ◆小学生(高) ♠中学生以上

音ムシのくさむら

♥♥◆

紙の箱を使ってマラカスのように鳴く「音ムシ」を作ろう。家族ごとに家も作って、「草村」で楽しく暮らそう。めずらしい虫を探している、虫取り名人には捕まらないよう注意して！



ピンチアニマルの国

♥♥◆♠

洗濯バサミの足で立つピンチアニマル。どの色の地域でくらすのか決めて、地元の素材を使って名産品を作ろう。足りない色や素材は交易所で物々交換して手に入れ、国を発展させよう。

新モアイ発見！

♥♥◆♠

近所の工事現場からモアイ像が発見されたらしい。その守り神の姿を想像して作ってみよう。その顔は笑っているのかな？おこっているのかな？新モアイ像はお互いどんなことをしゃべっているのだろう？



へびの小学校

♥♥◆♠

パペットのへびを作ったら小学校に入学。最初は片腕の長さの子へび達。学年が上がるごとに成長する。両腕まで、腕から足までと、どんどん長くなる。そして全身を使ってへびダンスにチャレンジ！

鳥になる

♥♥◆

すてきな紙のつばさをつくって、鳥に大変身！みんなでうまく飛べるようになったら、南の島めざして飛び立とう。数々の危機を乗り越え平和な楽園へ向かう。想像の冒険旅行の始まりです。



名画(芸術)になる

♥◆♠

「モナ・リザ」や「最後の晚餐」、抽象画などの名画を身体を使って表現したり、絵の人物になりきって会話したりする。ほかに、ギリシャ彫刻の欠けた部分を想像したり、名曲のリズムを身体で表したり。

その他のプログラム

■夜の学校の冒険 スポンジカラーとストローで作った人形で夜の学校を探検。何に出会おうだろう？

■キマイラ 頭、前足、後足、尻尾を別の人が描いて1匹の動物にする。名前も組み合わせで作る。

■白の国・黒の国 すべての白(黒)い国、どんな生活をしている？2つの国の共通点を見つけ、作って紹介。

■ツナガルエ 絵がつながるように打たれた点を通して線を引き絵を描く。順に並べてつながった作品にする。

■想像映画を作ろう 絵の書いてあるカードを並べてストーリーを想像。続きのシーンの絵を描き、映画のタイトルを付ける。

■キマイラ 頭、前足、後足、尻尾を別の人が描いて1匹の動物にする。名前も組み合わせで作る。

■オリジナルストーリー 地域の昔話を元に作成した工作とお話。ゆかりの地を地図や写真で紹介。

※参加者の年齢、会場、スタッフなどにより可能なプログラムは変わります。

ポピュラープログラム紹介

トイレトペーパーの森

主な対象年齢：
幼児・保護者～小学生

ドラマートの中で最も導入例が多く対象も広いプログラムを写真で紹介します。

Craft



3枚の紙と輪ゴムで簡単に作れるペパピポ人形。

Projection



いっしょに歩いて冒険の旅に。

Communication



森へ続く道を作る。

出会ったらあいさつ。

危険な木々をくぐりぬけて…

Control



真っ白い森の奥にある秘密とは？

Imagination

Drama



色の木の葉を手に入れろ！

Creation



手に入れたい色で服を作ろう。家をつくろう、街を作ろう。

reflection



みんな個性的な姿に！

最後に壊して片付ける…

Destruction & ...

参加者のことば

＜3才児の保護者＞
見られていないときに
音をならしてドキドキを
楽しんでいました。

音ムシのくさむら

＜2才児の保護者＞
切ったり貼ったり
するだけでも
興味深そうでした。

＜小学校中学年＞
家でやったら怒られることだ！
(トイレトペーパーを転がす
デモンストレーション時)

＜サポートスタッフ＞
森の中でやる、
「だるまさんがころんだ」の
子ども達のあまりの真剣さに
思わず笑ってしまいました。

＜サポートスタッフ＞
いつもはけんかばかりの兄弟が
なごやだった。帰る時には
とても満足そうな顔をしていた。

＜サポートスタッフ＞

虫取りが近づいたら、すみかを守るような仕草をしていました。
自分たちの大事なものを守る気持ちがでていました。

＜小学校低学年＞
(人形の衣装を作るのが)
おとうさんがすごいうまかった。

トイレト ペーパーの森

＜小学校中学年＞
(人形の衣装を)
着替えらるようにした。

＜サポートスタッフ＞
隣室で別の活動中なのに、
子どもがふすまを開けてしまった。
みんなに“森”を見て欲しいという
欲求が高まったのだと思います。

ヘビの小学校

＜小学校低学年＞
ヘビがかわいかった。すごい長くつながった。

ピンチアニマルの国

＜小学校高学年＞
今回は色ごとに分かれて
王国を作りました。
湖を作ったり、特産物のキュウリや
キャベツ、レタスをつくりました～

新モアイ発見!

＜小学校高学年＞
みんなの考えが
わかっておもしろい
(像は何を見守っているか
の発言に触れて)

＜サポートスタッフ＞
作った名物を別の子が交換して持っていった。
作った子は残念そうだったが、もらった子があまりにも
うれしそうにしているのを見て、誇らしげな顔になっていた。

＜サポートスタッフ＞
自分たちの居場所を作り込む子。
名物を色々考えて作る子、
思いおもいの関わり方で
遊んでいたのが印象的でした。